

議会報告会調査特別委員会からの報告に対する回答

意見・質問
イノシシ鹿が多すぎて駆除対策が遅れている。対策は。
回答
<p>イノシシ・シカ等の有害鳥獣による被害は、築上町を含め全国的な問題となっています。築上町では鳥獣被害対策実施隊を設置し、有害鳥獣捕獲を行っています。令和3年度捕獲頭数はイノシシ239頭、シカ418頭、合計657頭の捕獲実績となっています。</p> <p>また、地元要望がある地域には国の事業にてワイヤーメッシュ柵を設置し、被害を最小限に留めるよう努めています。</p> <p>町独自の事業として、イノシシ防御用電気柵の設置を行う、築上町イノシシ防御用施設補助金交付規定にて設置費の補助を行っています。</p> <p>今後も継続的に多様な対策を講じ、有害鳥獣の被害減少に努めていきたいと思っております。</p>

意見・質問
ジビエ料理も多様なので、無駄にせず活用してほしい。
回答
<p>京築管内では、豊前市とみやこ町にジビエセンターがあり、捕獲後搬入までの時間制限等の諸条件はありますが、築上町で捕獲したイノシシとシカを年に数頭搬入しています。</p>

意見・質問
農業者の高齢化で田畑荒廃。対策が必要。
回答
<p>農業者の高齢化や担い手不足は全国的な問題であり、築上町においても重要な問題と位置付けています。</p> <p>高齢化による田畑の荒廃について、令和5年度から地域計画の策定が開始されますが、策定段階で農地バンクを活用した農地の集約・集積、また、農業委員会による新規就農者の参入の促進を実施し、遊休農地解消に努めます。</p>

意見・質問

農業組合が高齢化で継続困難、統合の支援をしてほしい。

回答

関係機関（町・JA・普及センター）で構成されている担い手支援チームにおいて、令和4年度に24組織中10組織から現状の聞き取りを行ったところ、町の課題が明確となり、対策を検討しています。

また、新規就農者獲得についても京築で就農相談会など行っていますので引き続き実施してまいります。

令和5年度につきましては、葛城地区の集落営農組織統合を先行事例として引き続き支援を行ってまいります。

意見・質問

アサリだけでなく牡蠣もアピールしてほしい。

回答

令和5年12月出荷に向けて牡蠣のPR動画の作成を行っております。

また、水産関係で地域おこし協力隊を任用予定です。アサリと牡蠣のPR活動がより一層行えることが期待されます。

意見・質問

牡蠣の棚が足りないので補助が欲しい。

回答

国、県、町の牡蠣棚設置の補助事業はないのが現状です。今後、国・県へ牡蠣棚設置の補助事業化に向けた要望を行っていきたいと思います。

現在、築上町の単独事業として、牡蠣養殖の種代補助を行っております。

意見・質問

配布のJCB商品券は町内商店で使用不可能。地元に戻元できるものにしてほしい。

回答

ギフトカード配布は国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して、消費下支え等を通じた生活者支援として実施した事業です。

JCBギフトカードは各種商品券の中でも国内で最も利用可能店舗が多いことから町民の皆様に利用していただきやすいギフトカードとして選定いたしました。町内でも利用可能な店舗はあり、ギフトカード配布時にそのご案内をさせていただいているところです。

本事業の目的が地域経済支援ではなく、生活者支援でありますのでご理解いただきますようお願いいたします。

意見・質問

コマーレ・ソピアの使用料が近隣自治体より高いので、安価にしてほしい。

回答

コマーレについては、指定管理業務委託によりしいだサンコー株式会社が料金を設定することとなっています。ソピアについて、近隣と比較すると料金体系は、施設の部屋の種類や大きさ・座席数、「1時間あたり」の時間料金や「何時から何時まで」のパッケージ料金、備品使用の追加料金などで一概に比較できませんが、近隣と比べても高くはないと考えています。

特別の理由があるときは、使用料の減免制度もありますので、利用施設にご相談ください。

意見・質問

築上町は、ごみ分別の種類が少なく、他自治体は分別に厳しいところが多い。町でも分別が必要。徳島県上勝町はゴミゼロ。築上町は何でもかんでも燃えるごみ。しかしいつまでも通用しないのではないかと考える。世間的にも現在環境問題は非常に関心が高く町で育った子供たちが外に出た時に困るのではないかと心配。

回答

徳島県上勝町は一般廃棄物ゴミを13種類45分別することで一般ごみをリサイクルできる資源に変えるため町民一人一人が生ごみはコンポストで堆肥化、ごみによっては洗浄し乾燥する手間をかけすべてのゴミをリサイクルできる資源に変える努力をしているため約80%のゴミの減量化ができています。人口も1400人程度であり、職業別でも状況が本町とは違うと思われます。

当町は航空自衛隊築城基地があるため自衛官が全国から集まっています。また農園や某車両メーカー、各種工場、各企業に外国人が多く勤務し当町でも暮らしています。全国各地と外国の風習の違いから出されても収集できないゴミが多くあり町清掃施設や関係課職員で分別をし直し回収処理している状況です。13種類まではいかずとも数種類の分別するゴミ袋収集方法の改良には時間的・金銭的にも多くの負担が増えると思われます。

近年では福岡県内を6ブロックに分け、ごみの焼却処理施設を集積化大型化しようとする傾向があります。当町では約20年前に従前の一般ごみ焼却処理方式からRDF固形燃料化施設での処理方式に変わっています。RDF固形化燃料は、当町内では燃やさず、近隣市町村の企業に加熱燃料資材として使ってもらっている現状です。他の自治体における燃やすごみは固形燃料化ごみとして収集しており、町内で加熱処理を行わないため、ダイオキシンの発生はゼロ、二酸化炭素の発生はほぼありません。プラスチックごみの分別を福岡県より変えるよう指示は受けていますが、RDF化するという当町の特性上、プラスチック成分が入らないと成形に影響が出るため、現状維持を行っている状況であります。

ごみの分別が2種類（ペットボトルゴミ、廃プラスチックごみ）増えることになった場合は、町民の皆様に洗浄、剥離、分別作業を自己責任でお願いするかもしれません。将来の子供たちのため正しいごみ分別方法は、時代に合わせ変える必要があると思っています。

意見・質問

ゴミゼロというのを最終的な目標に分別を考えるべきで、行政も議会も町民自身もこれから勉強していくべき。一人一人の意識を変える必要がある。ゴミのポイ捨てが非常に多いことも同様。

回答

当町では約20年前に従前の一般ごみ焼却処理方式からRDF固形燃料化施設での処理方式に変わっています。RDF固形化燃料は、当町内では燃やさず、近隣市町村の企業に加熱燃料資材として使ってもらっている現状です。他の自治体における燃やすごみは固形燃料化ごみとして収集しており、町内で加熱処理を行わないため、ダイオキシンの発生はゼロ、二酸化炭素の発生はほぼありません。プラスチックごみの分別を福岡県より変えるよう指示は受けていますが、RDF化するという当町の特性上、プラスチック成分が入らないと成形に影響が出るため、現状維持を行っている状況であります。

ごみの分別が2種類（ペットボトルごみ、廃プラスチックごみ）増えることになった場合は、町民の皆様には洗浄、剥離、分別作業を自己責任でお願いするかもしれません。将来の子供たちのため正しいごみ分別方法は、時代に合わせ変える必要があると思っています。

ここ最近では、道路（町道、県道、国道）、林道、空き地、山林等に不法投棄が増えています。悪質なゴミは、警察・環境保健事務所にも被害状況の報告を行っていますが、巡回強化しても減少のめどが立ちません。不法投棄ゴミも関係課にて収集し処理をしています。不法投棄監視カメラの設置、看板の増設、監視員による警戒を増やしても不法投棄する場所や時間が高度化・悪質化しています。

またゴミや許可のない枝木、草の野焼きによる燃焼の現場摘発をしていますが、住民のゴミや草木を安易に燃やさない意識改革も必要と思ひ防災無線での啓発も随時行っています。

意見・質問

下水道がない地域で合併浄化槽が整備されていない地域は河川に垂れ流しになっているのではないかと。環境的にも改善を求めるが。

回答

公共下水地域や農業集落排水地域では下水道柵の設置と接続により、下水垂れ流しや悪臭発生が抑えられるため住民に接続するよう啓発しています。

その他の下水施設のない地域では、上下水道課に合併浄化槽設置補助があるので相談するようにお願いします。

下水の垂れ流しによる悪臭発生は、環境を調査し、住民に指導しています。悪質な場合は環境保健事務所に相談し、二者による指導を行っています。

意見・質問

町のイベントに「65歳以上」の制限が多い。若い世代（母親世代）も一緒に参加して触れ合う機会が必要で、若い世代を巻き込んでほしい。学校問題を少子高齢化は切り離さない町づくりから始めてほしいが。

回答

町のイベントについては、対象により満遍なく多く開催されているのではないかと思います。

しかしながら、世代間交流はなかなかできていない現状です。イベント内容の工夫など、配慮できればと思います。

意見・質問

少子高齢化は急に始まったことではない。対策を。

回答

築上町では、安心して出産、子育てができるよう、次の子育て支援策を実施しています。

● 子育て支援サービス

- 1 産後ケア事業（宿泊型・訪問型）
- 2 新生児検査費助成事業
 - ・ 聴覚検査費用 上限5千円
 - ・ ライソゾーム病検査 上限5千円 … 県下初の取組み
- 3 第3子以降保育料・副食費 無償化
- 4 休日保育事業
- 5 一時預かり保育事業
- 6 病後児保育事業
- 7 築上塾の実施（土曜講座 小4、中3 希望者対象、少人数制の習熟度別指導。学校教育課）
- 8 子ども医療費助成事業（所得制限なし、18歳まで。保険福祉課）
- 9 児童館事業
- 10 ブックスタート及びフォローアップ事業（生涯学習課）
- 11 造血細胞移植後再接種費用補助事業（任意予防接種）
- 12 保育園・幼稚園巡回相談事業（療育）、発達・療育相談事業（こあらサークル）
- 13 小児・AYA世代がん患者在宅療養生活支援事業（保険福祉課）
- 14 町立保育園における使用済み紙おむつ持ち帰りルール 廃止
- 15 給食自校方式（学校教育課）
- 16 三歳児健診時、視覚検査機器導入（令和5年度～）
- 17 助産師 正規職員（2名）配置
- 18 奨学金貸付事業（学校教育課）
- 19 「ふくおか・まごころ駐車場」利用証の交付（保険福祉課）
- 20 出産・子育て応援交付金事業（国の事業、令和4年度～）
- 21 町独自の教職員（講師）、支援員の配置（学校教育課）
- 22 学校給食費無償化（令和5年度～、学校教育課）
- 23 築上町子育て世代包括支援センター設置
- 24 築上町子ども家庭総合支援拠点設置
- 25 子どもインフルエンザ予防接種費用助成（任意予防接種；上限4,000円/回へ増額）
- 26 築上町保育士処遇改善事業補助金交付事業（町独自）
- 27 低所得者に対する初回産科受診料助成事業（令和5年度～）
- 28 乳幼児への支援（乳児家庭全戸訪問事業、乳幼児健診【4ヵ月児・7ヵ月児・1歳6ヵ月児・3歳児】）

※（ ）内に課名がないものは子育て・健康支援課

意見・質問

メタセの遊歩道整備について、もっときちんと整備を。地域の公園が少ないので整備を。

回答

現状のメタセコイヤ遊歩道の奥に、ウッドチップを敷き詰めた遊歩道を約140m整備新設しました。また、物産館メタセの杜周辺の立木や草等の刈り取り作業を実施しています。

今後は遊歩道新設を含め、周辺の景観を生かした整備を計画的に検討し、来場者が何度でも来たくなる公園を目指していきたいと思えます。

児童遊園については、自治会に管理をお願いしているところですが、児童数が少なくなったことにより、使用されない遊具について、自治会から撤去の申し出をいただくことが多くなりました。子育て・健康支援課では、児童遊園の維持について、管理は自治会をお願いしているものの、可能な限り、自治会と連携を図り、維持に努めております。

今後も児童遊園の維持において、住民の皆様と協力しながら努めて参ります。

意見・質問

町内道路について、舗装ができていない箇所があり、安全に自転車や徒歩で通行できるように改善を求める。

回答

道路の舗装については、毎年度数カ所程度ではありますが、舗装工事を行っております。できる限り補助事業を活用し、町単独費の支出を抑えている状況です。

今後も予算の範囲内ではありますが、未舗装道路の解消に努めていきたいと思えますので、ご理解をお願いします。

意見・質問

自治会退会希望者が多く在り方を考えねばならない。村づくり交付金の使途がなく無駄遣いになるので考えてほしいが。

回答

自治会運営については、高齢化、役員のなり手不足など深刻な状況です。自治会長の業務負担の軽減、デジタル化を進めるなど若者が加入しやすい体制づくりを協議していくようにしたいと思えます。

意見・質問

D X (デジタルトランスフォーメーション) について考えてほしい。

回答

築上町ではデジタル技術を用いて町民の皆様の生活をより良いものにするために、様々な取り組みを行っています。

例えば令和2年度から築上町公式LINEアカウントを開設し、暮らしに関わる情報をリアルタイムに発信しています。令和3年には防災行政無線機との連携ができるようになり、防災無線の内容がLINEのトーク画面に通知されるようになりました。

また、令和5年4月からは町税や上下水道料金がスマートフォン決済アプリで納付できるようになりました。今後も行政サービスの向上を目指し、積極的にD X推進へ取り組んで参ります。

意見・質問

情報発信についてSNSに頼れない方々にも届く方法を求める。

回答

町の情報発信について、各世代に伝わりやすいツールを活用して周知してまいります。
(広報紙、防災無線、LINE、ホームページ、Facebookほか)

意見・質問

ソピアが子どもに冷たく追い返される事例がある。

回答

コミュニティーセンターであるソピアは誰もが気持ちよく使って頂ける施設運営を心がけていきたいと考えています。

今後、そのような事例がないように利用者の方への対応について職員には周知徹底に努めます。

意見・質問

東日本大震災経験者より、この地域は大丈夫という考えは改めるべきで、山津波と雪崩は同じなので、注意喚起してほしい。子どもが守れるように防災についてすぐに対応できるような備えの計画を求める。

回答

本町で河川の氾濫や土砂災害などが発生した場合に適切な避難行動ができるよう「総合防災ハザードマップ」を作成し全戸に配布しています。自然災害による被害を最小限に抑えるためには、自助、共助、公助の3つの連携が必要です。

本町では共助の取り組みとして自治会単位で自主防災組織を多数設置しており、新型コロナウイルス感染症予防対策で行われていなかった避難所訓練を現在計画しているところです。

また、公助の取り組みとして防災行政無線、町ホームページ、LINE、福岡県防災メール配信、緊急速報メール配信、消防団による呼びかけ、災害復旧等を行っています。公助では災害時の情報集約に努め、地域住民に素早く正確な情報を提供できるよう今後も努めていきます。

意見・質問

高齢者支援について、高齢者と若者が関われるような施策を。老人会の運営が現在困難だが、行政のサポートがあれば持続可能になる。ふれあい市場が新しくなるが、不便になる。敬老祝賀事業がなくなる。理由は個人情報保護。今まで77歳以上の方の名簿を町が自治会に提示していたが、提示されなくなった。同時に補助金廃止。住みよい町づくりはどこに行ったのかと感じる。

回答

老人クラブ連合会につきましては、日頃から情報共有を行うとともに、補助金の交付などにより活動の支援を行っております。また、連合会からの要望等につきましては、行政としてサポートを行っているところでございますが、今後も情報共有を深め、活動の活性化を図って参りたいと考えております。

敬老祝賀会につきましては、町の財政状況や自治会への負担等を検討した結果、事業の廃止に至ったものでございます。敬老祝賀事業交付金につきましては、敬老祝賀会に参加できなかった方への代替事業として交付金の交付を行って参りましたが、敬老祝賀事業の廃止に伴い、本交付金についても廃止に至ったものでございます。また、両事業につきましては、自治会への未加入者への対応や個人情報の取扱いなど、自治会への負担軽減を図ることも考慮したものでございます。

意見・質問

障がい者支援について、生活支援や障がい者が仕事できる場所がもっとほしい。

回答

現在、築上町には就労継続支援 A 型事業所が 2 カ所、就労継続支援 B 型事業所が 3 カ所あり、令和 5 年度には就労継続支援 B 型事業所が新たに 1 カ所開設する予定で、就労系の福祉事業所は増えております。また、一般就労につきましては、「障害者就業・生活支援センター エール」と協力体制を整えながら、雇用につなげていけるよう連携していきたいと考えております。

意見・質問

福祉×農業など他業種との関りで農福連携をあらゆる分野で充実を。

回答

農福連携につきましては、産業課を中心に J A と協力して、白ネギの出荷処理について生産者と福祉事業所で業務提携を進めている現状です。今後、地域ニーズに合わせた他品目とのマッチングを図るなど、産業課等と取り組んでまいりたいと考えております。

意見・質問

社会福祉協議会設備について、お風呂が一箇所になるらしいので、廃止されるお風呂の近隣の方が心配している。利用者が困らない対策を。朗読ボランティアとして無償で協力しているが、町の支援がない。町からボランティアに仕事の依頼はあるのに C D すら提供がない。メンバーの高齢化もあり継続が困難。次世代への継続に関しても支援がほしい。企業と組むなどの Win Win となる仕組みを考えてほしい。

回答

社会福祉センターの施設統合につきましては、「築上町公共施設等総合管理計画」に基づき、事業を実施しております。入浴事業が 1 カ所に統合される件につきましては、ご利用者様にはご不便をおかけする面があるかと思っております。

現在、椎田社会福祉センターの施設修繕に向けた検討を行っており、入浴施設につきましても、住民の皆さまが快適に利用できるよう改修を行うべく計画していきたいと考えております。より一層の住民サービスの向上に努めて参りますので、ご理解とご協力をお願いします。

ボランティアの育成等につきましては、社会福祉協議会が主体となり実施しております。町といたしましては、社会福祉協議会の運営に対し補助金を支出するなど、事業の継続に協力しているところでございます。

意見・質問

個人情報保護で民生委員にも情報がない。緩和されないと活動ができない。

回答

民生委員活動につきましては、個人情報保護を遵守しておりますが、状況に応じて柔軟に対応しておりますので、民生委員児童委員協議会を通じて協議を進めて参りたいと考えております。

意見・質問

防音工事の陳情はどのくらい通っているか疑問。騒音問題は将来的な問題。しっかりと政府に声を届けてほしい。

回答

騒音問題を解決するには、住宅防音工事の拡充が必要であり、現在、住宅防音工事の対象区域を縮小することなく、平成4年以降の建物を対象区域として含み区域を拡大するよう防衛省に要望しているところです。騒音コンターの見直しは全国的に波及する可能性があるため、慎重に要望を行っており、回答までに時間を要します。引き続き、町として不公平感の解消に向けて要望を行います。

意見・質問

日米共同訓練は、事後にしか情報がない。町民に事前に情報提供してほしい。

回答

沖縄県嘉手納飛行場の在日米軍と航空自衛隊が共同で訓練を実施する場合は、九州防衛局を通じて事前に連絡があるため防災行政無線と築上町ホームページで情報提供しているところです。それ以外の訓練については、事前に情報提供がないことから総合幕僚監部の報道発表資料を事後で確認しています。町としても事前に情報提供いただくよう要望しているところです。

意見・質問

学校統廃合について学校統廃合説明会は計画性も見えず、決まったことを発表する印象。住民意見を聞き、議論し決まったことなら、納得ができるが機会もないので一方的で到底納得できない。

回答

小学校の統廃合については、地域の皆さんからの要望もあり、町長の方針のもと、町としては、合併以降、人口減少対策に取り組むなどしながら、可能な限り学校を存続させる方向で努力をしてきました。

しかし、近年の児童・生徒数の減少傾向は著しく、また、GIGAスクール構想などの情報化の加速度的な進展により、教育を取り巻く環境は大きく変化しており、新しい時代に対応した学校教育に取り組む必要があります。また、これからの社会を生きる児童生徒には、多くの友達や教職員との交流を通じて、互いに切磋琢磨するとともに、多様な意見や考えに触れ、その中で主体性や探求する力を高めていくことが、これまで以上に求められています。

教育委員会としては、現在の著しい少子化のなかで、活力ある学校をどう作っていくのか、また、これからの「令和の日本型学校教育」を実現するためには、一定の学校規模に再編する必要があるという考えのもと、令和2年11月には、「新しい時代に向けた築上町小中学校のあり方について」を取り纏め、学校規模の適正化、義務教育9年間の継続した学びの重要性について整理しました。

また、令和4年2月には、「築上町小中一貫教育基本方針」を策定し、築上町が目指す小中一貫教育の方針を定めたところです。

こうした、これまでの教育委員会の会議や教育委員会が主催します「コミュニティスクール連絡会」等での議論を踏まえ、また、総合教育会議の中でも、町長と学校の再編について意見交換を行いながら、令和4年10月に「築上町立小中学校適正配置基本計画」を策定したところです。

適正配置の実施については、保護者・地域の方のご意見を踏まえ実施していく方針です。本年2月には、小中学校在籍児童生徒の保護者及び、未就学児の保護者を対象とした、適正配置に関するアンケートを実施したところです。

現在、アンケート結果の集計及び、頂いたご意見・ご要望等について、教育委員会としての考え方を整理しているところです。

今後は、各学校の学校運営協議会等でのご意見を頂きながら、また、別途、各学校の学校関係者、保護者、地域住民の方で構成する「適正配置推進委員会（仮称）」を新たに立上げ、ご意見を頂きながら、進めていきたいと考えています。

ご意見を頂きました上城井小学校と下城井小学校の統合、スクールバスの運行等の問題についても、保護者・地域の皆様のご意見をいただきながら検討して参りたいと考えています。

意見・質問

教員不足の要因に管理職が先生を守れず、保護者の声を聴くという楽な選択をしていることが問題。先生・保護者の対等な関係を求めたいが。

回答

学校長には、児童生徒指導等における保護者とのトラブルが発生した場合には、保護者、教職員、両方の意見を丁寧に取り、適切に対応するよう指導しております。

意見・質問

子育てのためにとの図書カード配布は希望があったのか。住民のニーズをどう把握しているのか。事前に意見聴取してほしいが。

回答

図書カード配布は国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して、エネルギー・食料品価格等の物価高騰に伴う子育て世帯支援として実施した事業です。

0歳から18歳までのいずれの年代も図書の需要が見込まれ、読書活動や学習支援への寄与が期待できると考え、配布を決定いたしました。

国からの交付金通知後、推奨事業メニューの中から事業を検討し、決定・実施までを非常に短いスケジュールの中、行っておりますことから事前に町民の皆様からのご意見を伺う機会は設けておりません。ご理解いただきますようお願いいたします。